

## 宇部市総合計画審議会（第1回）議事録

日 時 令和3年4月22日（木）14:00～16:00

場 所 宇部市役所第2・3・4委員会室

出席者

（委員）

山崎 晶子	井上 剛治	藤井 茉莉	原 洋 司	志賀 順子
黒川 泰	柳田 英治	有田信二郎	井原 八郎	藤井 恵子
林 里織	日高 良和	三浦 英恒	脇 和也	五十崎 良

（宇部市）

宇 部 市 長	篠崎 圭二			
総 合 戦 略 局 長	村上 正和	同局次長	庄賀 信彦	
新総合計画策定グループリーダー	濱原 貴宏	同サブリーダー	諏訪 智子	同チーフ 棟久 直行
政策企画グループリーダー	中村 淳一	同サブリーダー	穂積 紀子	

欠席者

（委員）

今村美智子	上村 清子	三村 美和	杉野 法広	大仁 田樹
-------	-------	-------	-------	-------

### 《 辞令交付式 》

#### 1 辞令交付

篠崎市長より出席委員15名に辞令書交付

#### 2 市長あいさつ

（市長） 皆様、こんにちは。審議会委員の職をお受けいただきまして誠にありがとうございます。ございます。

今、我々が直面している時代、皆様ご存知のとおり新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、一昨年まで普通であったことが普通でないそのような時代に直面しております。またその他にも、デジタル社会の浸透、少子高齢化、人口減少、我々の目の前にある課題を数えていくときりがない状況にあります。しかし、このような状況であっても、宇部市には様々な可能性がまだまだあると私自身は思っております。

本市は本年、市制施行100周年を迎えます。先人の皆様がこの宇部市を発展させ、「共存同栄・協同一致」という理念は宇部市民の精神（こころ）であります。次世代に人材的、また経済的な投資をし、次世代のためにしっかりと取り組んでいく、それが宇部市ならではの精神であります。この精神の基、宇部市は産業、

環境問題、子育て支援など、いろんな課題を乗り越えてまいりました。

そして、その結果、全国でも有数の産業集積地である、また人材育成や研究機関が立地している、交通の要衝でもある、そして豊かな自然環境、これらはまだまだ活かしきれていない。それが、私の思いであります。これらをしっかり活かすことによって、宇部市の次世代を創っていく、この思いでこの度の第五次総合計画を作っていきたいとそうに私自身は思っております。

この総合計画は、市民の皆様と行政が共有する次世代のための次の100年に向けた礎となるまちづくりのビジョンであります。皆様におかれましては、それぞれの立場から、それぞれのご見識があると思いますので、率直な意見交換、ご提言をいただけることを期待しております。

また、この総合計画、作るだけでは意味がないと私自身思っております。一番大事なことは、計画を作って、その計画に沿うように施策を展開し、実行することで、市民の皆様が本当に宇部市に生まれて良かった、暮らして良かったと感じていただけるまちづくりをすることが、何よりも大事だと思っております。計画作りだけに終わらず、実行することまでをも見据えたご提言を何卒よろしく願います。

そして、先人たちが思ったように、我々も次世代を担う子どもたちのために、この宇部市を創っていきたいと思っております。私自身も市民の皆様からしっかりとお声をお聞きするために、現在、市政懇談会を開催させていただいております。24地区すべてを回らせていただいて、各地区ならではの課題、方向性を共有しながら、まちづくりを進めたいと思っております。今後は市民の皆様とのワークショップも開催する予定としております。市民の皆様のご意見をしっかりと聞き取りながら、そして、ご見識のある皆様のご提言をいただきながら、宇部市のための未来に向かった総合計画を作りあげたいと思っております。

これから、約半年間、短い期間ではございますが、しっかりと皆様からご提言をいただいて、繰り返しになりますが、100周年だからこそ次の100年に向かったその礎となる計画としたいと思います。

どうぞ、皆様のご協力を切にお願い申し上げます、市長のご挨拶とさせていただきます。皆様どうぞよろしく願い申し上げます。

### **3 審議会委員自己紹介**

各委員から名簿順に自己紹介

### **4 事務局職員紹介**

## 《 第 1 回会議 》

### 1 宇部市総合計画審議会について

(事務局) 宇部市総合計画審議会条例（以下「条例」という。）について説明を行う。

### 2 会長及び副会長の選出について

委員の互選により、会長に脇和也委員、副会長に藤井茉莉委員が選任された。

### 3 諮問

篠崎市長から協会長に第五次宇部市総合計画について諮問を行う。

### 4 会議の運営について

(事務局) 会議の運営につきまして、委員の皆様にお諮りしたいと思います。

(資料2)「宇部市総合計画審議会 第1回会議」の9シート目をご覧ください。

この審議会の会議は、計画の策定過程を、広く市民の皆様にご覧いただき、観点から、本日を含め、会議を原則公開することとし、傍聴を可能にしたいと考えております。また、会議内容を録音し、後日、議事録として、市のウェブサイト等で公表したいと思います。皆様、よろしいでしょうか。

(委員) 一同異議なし

(事務局) それでは、会議については公開とし、議事録についても公表することとします。

### 5 会議

(事務局) これより、本日の会議に移ります。本日は、委員の半数以上の出席をいただいておりますので、会議は成立しておりますことをご報告いたします。

これより、会議の議長は、条例第4条第1項の規定により、会長にお願いしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

(会長) それでは、まず、最初の項目になります。

第1点目、宇部市新総合計画策定方針について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 資料2「宇部市総合計画審議会 第1回会議」及び

資料3「第五次宇部市総合計画策定体制」により総合計画策定方針の説明を行う。

(会長) ただ今の事務局の説明について、何か御質問はありませんでしょうか。

(委 員) 今は違うが、かつて策定された計画書は「読まれざるバイブル」と揶揄されていましたが、どれだけのボリュームになるのでしょうか。例えば、前回はどれくらいだったのでしょうか。

(事 務 局) 前回について、基本構想の冊子全体で44ページですが、資料編がついておりますので本質部分は33ページです。多くの人に見てもらえるよう、ダイジェスト版の作成も考えております。

(委 員) 策定方針の中で説明のあった「ふるさと字部」という表現は、市外に出ていった人が宇部市を見た表現にとれるのですが。

(事 務 局) 今後、委員皆さんからの意見や協議をしていく中で、キャッチフレーズやキーワードなどを議論して、整理していきたいと考えています。

(委 員) 前回の第四次総合計画は、前期・中期・後期ですが、今回はなぜ、前期と後期に分けたのでしょうか。

(事 務 局) これまでは、前期・後期に分けていましたが、前回の第四次総合計画は12年間ということで、前期・中期・後期各4年でした。

今回は10年ということにしておりますので、前期・後期各5年としました。

(会 長) 次に、第2点目、策定スケジュールについて、事務局から説明をお願いします。

(事 務 局) 資料4「第五次宇部市総合計画策定スケジュール(予定)」により説明を行う。

(会 長) ただ今の事務局の説明について、何か御質問はありませんでしょうか。

(委 員) 市政懇談会について、私の地区は今週予定されていますが、地区(ふれあいセンター)に総合計画のもとになる意見を出してくださいということが、たぶん伝わっていないと思います。市長への要望を出してくださいとなっています。ちょっと視点が違ってくるのかなと思います。

(事 務 局) すでに市政懇談会は始まっておりまして、24地区ありますので、小さな課題から大きな課題までいろいろ出ていて、キーワードもたくさん出ていますので、総合計画に反映できる部分は全部抽出していきたいと思っています。この点については、行政だけでなく、コンサルにも支援していただいて分析等していきます。実

際、市政懇談会では困っていることを意見として言われるので、それが解決につながるということは、まちづくりにとって良いことにつながると思います。市長も冒頭あいさつで、総合計画に反映させたいと申しておりますので、できる限り吸い上げていければと思います。

(委 員) 市民ワークショップの規模と日数について教えてください。

(事 務 局) コロナ渦において、なかなか大勢の方が複数回参加するというのは難しい状況ですが、今考えているのが、高校生以上の市民20人程度を5月号の広報で募集をかけた上で、4つか5つのグループに分かれて、2回のワークショップを開催し、意見交換を行う予定です。これについても、コンサルの協力をいただきながら、行政プラスアルファでより充実した内容にしたいと思います。

6月6日(日曜日)と6月13日(日曜日)に文化会館の研修ホールで実施を予定しています。また、委員の皆様には、情報提供をさせていただこうと思います。

(委 員) これから学生アンケートを実施されるとのことですが、学生に対してどのように周知をするのでしょうか。やり方もいろいろあると思いますが、対象者に届けなければ意味がないと思うので、どのように考えられているのでしょうか。

(事 務 局) 以前は紙で実施していました。各学校にお願いして、高校生であれば3年生、大学生であれば4年生に卒業後の進路先を踏まえた状況で、5年前から毎年実施しています。昨年度からインターネットによる任意のアンケートに変更したことにより、回答率が下がってしまった状況にあります。そこで、現在、学生アンケートを実施している担当課と、高校生・大学生の全学年を対象とするという話をしているところです。このことについて、学校にチラシをお持ちして、チラシでまず知っていただいて、それからインターネットで回答する形になります。回答率が低くなることを危惧しておりますが、ペーパーレスの時代の中、紙に戻すのもどうなのかなという状況でもあります。

(会 長) 第3点目、宇部市の現状について、事務局から、説明をお願いします。

(事 務 局) 宇部市の現状について次の説明を行う。

- 1 本市を取り巻く社会情勢について
  - (1) 少子高齢化・人口減少社会の進展
  - (2) 地域経済の活性化とグローバル化への対応

- (3) 持続可能な循環型社会の構築
- (4) 安全・安心への意識の高まり
- (5) 高度情報化社会への対応
- (6) 誰もが尊重され活躍できる共生社会の実現
- (7) 持続可能な開発目標（SDG s）に向けた取組
- (8) 地域経営の視点による行財政運営の確立

## 2 本市の現況について

(会 長) ただ今の事務局の説明について、何か御質問はありませんでしょうか。

(委 員) 本市を取り巻く社会情勢について8項目ありますが、これらの順位付け、どれから手をつけていくのでしょうか。

(事 務 局) 行政である以上、幅広い分野を満遍なく抑えていなければならないのですが、財源が限られている、人口が減っていく中で、重み付けを考えないといけないと思います。アンケートや委員の皆様の議論の中で、どの点の重みが強いのか、例えば、子育て支援を前期実行計画5年間の大きいプロジェクトにしていこうとか、3つ、4つあげていこうという議論もしていただけたらと思います。

(委 員) まちのにぎわい創出など、すでに宇部市で実施されているものについて、実績を示していただきたい。また、実施していく順番をつけたら良いのではないのでしょうか。

(事 務 局) 今までの計画が今までどうなっているのかという検証、それを踏まえて考える、いわゆるP D C Aが必要だと思います。

現在、2020年度が終わって、これまでの実績の集計を全庁的に行っているところで、いわゆるK P I、目標値の達成も含めましてですが、次の審議会までにお示しできればと思っております。

## 6 その他

(事 務 局) その他連絡事項及び意見提出シートの説明を行う。